

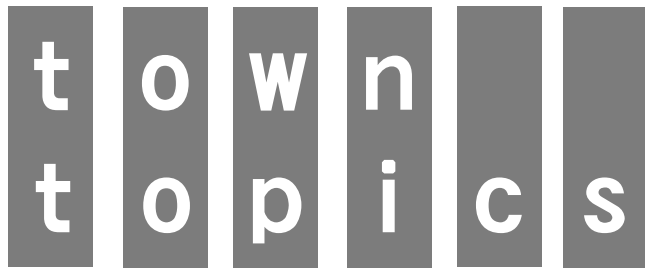
ストップ・ザ・交通事故  
交通安全推進町民大会が開催される

4月10日、町民会館で平成26年度津別町交通安全推進町民大会（主催 津別町交通安全推進委員会）が開催されました。  
約220名の町民が参加した大会では、「交通安全に関する標語コンクール」の表彰が行われました。小学生の部・最優秀賞作品には水戸部都君（津別小学校5年生）の「あぶないぞ スマホを見るな 前を見る」、中学生の部・最優秀賞作品には、眞鍋葉月さん（津別中学校2年生）の「その笑顔シートベルトで 守ろうよ」が選ばれ、優秀賞と努力賞あわせて10点が表彰されました（学年は平成26年3月時点）。  
また、各団体代表が交通安全に向けて力強く決意表明し、最後に美幌警察署地域交通課長による講話が行われ、参加者は交通安全への意識を新たにしました。



恵和福祉会に経営移譲  
「いちいの園」等の開所式

町から社会福祉法人・恵和福祉会（西澤寛俊理事長）への経営移譲に伴い、4月1日、特別養護老人ホーム「いちいの園」、デイサービスセンター及び居宅介護支援事業所の開所式が行われました。  
開所にあたり西澤理事長が「多くの皆さまのご協力に感謝いたします。当会の理念である個人の尊厳を保持し、地域に密着した良質な安全なサービスを目指してまいります」とあいさつ。  
続いて佐藤町長が「実績のある恵和福祉会さんによる、優れたサービスの提供に期待しております」と述べました。



まちのわだい

新入学児童の交通安全を願って  
ランドセルカバー、マスコットを寄贈

3月24日、津別町交通安全協会（柳瀬輝彦会長）から、遠くからでもよく目立つ黄色のランドセルカバー（交通事故傷害保険付き）が教育委員会へ寄贈されました。  
また、3月27日にはボランティアサークル・おりづる会（林洋子代表）のみなさんが教育長室を訪れ、となりのトトロをモチーフにしたストラップ付交通安全マスコットを寄贈。いずれも町内3小学校の新生児に配られます。運転者の方も、子どもたちを守るため、安全運転を心がけましょう。



柳瀬会長（右）と  
林教育長



おりづる会の  
みなさん

子どもたちの安んずる  
防犯協会が新入学児童のために防犯ブザーを寄贈

3月27日、津別町防犯協会・中川孝敏副会長から教育委員会に、防犯ブザー23個が寄贈されました。  
万が一に備えて犯罪被害から子どもたちを守るための取り組みで、今年で14年連続の寄贈となります。  
ストラップを引くと大音量のアラーム音で周囲に異変を知らせる防犯ブザー『ミオモルくん』は、町内3小学校の新入学児童全員に手渡されます。



消防職員として40年  
大野署長に消防庁長官表彰

津別消防署の大野功二署長（3月末で定年退職）が消防庁長官表彰の永年勤続功労章を受章し、3月24日、町長室で表彰状の伝達式が行われました。昭和49年に津別消防署に入署して以来、40年間にわたり災害出動や救急業務体制確立、消防職員の人材育成等にあたってこられた功績が認められたものです。  
佐藤町長からのお祝いの言葉に、大野署長は「みなさんの協力のおかげと感謝しています」と受章の喜びを語りました。



多機能ホーム&共生ホーム  
夢ふっせんのかオープン



共生型住宅を併設した小規模多機能型居宅介護事業所「夢ふっせんのか」（運営事業主・株式会社エムリンク）が達美に完成し、4月14日、竣工式と記念式典が行われました。  
多機能ホームは、町の第5期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づき、介護が必要になっても住み慣れた地域での生活が可能となるように、訪問、通所、短期入所等の24時間介護サービスを提供します。  
また、隣接して、高齢者や障がい者とともに暮らす共生ホームが建てられています。

食農教育応援事業  
JAつべつが補助教材寄贈

3月25日、JAつべつ（山下邦昭代表理事組合長）から教育委員会に、小学校高学年向けの補助教材「農業とわたしたちの暮らし」が寄贈されました。  
平成20年から実施しているJAバンクによる食農教育応援事業の一環で、食や環境等と農業のつながりを勉強し、子どもたちに農業への理解をより深めてもらうことが目的です。  
贈られた教材は、町内3小学校で5年生の社会の授業に活用されます。



惜しまれながら67年の歴史に幕  
活汲中学校で閉校式  
3月24日、津別中学校との統合により、この3月で閉校となった活汲中学校の閉校式が行われました。  
同校は昭和22年に地域の皆さんの尽力により開校して以来、67年にわたって多くの卒業生を送り出してきました。  
式には活汲小学校を含む在校生、卒業生、父兄、職員、来賓などが出席し、母校の歴史を偲びました。来賓のあいさつに続き、在校生を代表して大矢根夏海さんが「活汲中で学んだことを誇りに学舎をあとにします」と別れの言葉を述べ、最後は全員で校歌を斉唱して式を終えました。